Press Release

2026 年 3 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社建設技術研究所
代表者名 代表取締役社長執行役員 西村 達也
（コード：9621、東証プライム）

ヒヤリハット事象を定量化し、交通安全対策の高度化へ
『みちのくインフラ DX 奨励賞』を受賞

国土交通省東北地方整備局において開催された、東北みらい DX・i-Construction 連絡調整会議にて、株式会社建設技術研究所（本社：東京都中央区、代表取締役社長：西村達也）の AI 技術を活用した交通挙動分析が評価され、『みちのくインフラ DX 奨励賞（民間企業部門）』を 2026 年 3 月 3 日に受賞しました。

【取組概要】

わが国における交通事故は近年減少傾向にありますが、未だ約 2,500 人の命が失われています。交通事故の削減は、地域の安全・安心を支える重要な社会課題です。

一方で、事故は偶発的に発生するため、事故データだけでは、潜在的な危険性や真の要因を十分に把握できないという課題があります。実際には、事故には至らなかったものの、多くの「危険な場面」が日常的に発生しています。

本取組では、こうした**事故の一歩手前にあたる「ヒヤリハット事象」に着目し、危険性を早期に捉え、効果的な交通安全対策につなげることを目的**としました。道路管理用の既設カメラ映像を AI 画像解析技術によってニアミス事象を自動抽出することで、これまで人の経験や感覚に頼っていた危険挙動を、客観的な情報として捉えることで、実効性の高い交通安全対策を立案する仕組みを構築するとともに、大幅な省力化が実現しました。

本技術の活用により、全国に多数設置されている既設カメラの映像等を交通安全対策に活用することができるようになり、交通事故対策の取り組みが高度化します。

出典：R７　みちのくインフラ DX 奨励賞【民間企業部門】

https://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/kisyah/images/106434_1.pdf